

精索捻転症、その他精巣疾患の診断、治療のため当院に入院・
通院される患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対する
ご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>泌尿器科</u> 職名 <u>部長</u> 氏名 <u>杉多 良文</u> 連絡先電話番号 <u>30030</u>
実務責任者	所属 <u>泌尿器科</u> 職名 <u>フェロー</u> 氏名 <u>松崎 和炯</u> 連絡先電話番号 <u>38106</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、泌尿器科 松崎 までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2021 年 1 月 1 日より 2023 年 12 月 31 日までの間に、当院の泌尿器科、放射線科にて精索捻転、陰嚢水腫、停留精巣、精巣上体炎、精巣垂捻転、急性陰嚢痛の診断、根治手術治療のため入院あるいは通院し、陰嚢部エコー検査、もしくは精索捻転解除術、精巣摘除術を受けた方

2 研究課題名

精索捻転症における精巣 Shear Wave Elastography の有用性検討

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 泌尿器科、放射線科

4 本研究の意義、目的、方法

精索捻転症は精巣につながる血管がねじれて血流がなくなることで発症します。そのため、エコー検査で血流を診断します。また、血流の途絶時間によっては精巣内容のむくみ、壊死などの変性が起こり、同様にエコーで確認できます。本研究ではエコー検査の際に Shear Wave Elastography という精巣内容の硬さを測定する検査法を用います。すでに肝臓などの臓器では広く利用されている検査法であり、精巣においてはマウスの精索捻転症でその有用性が確認されています。今回は人での応用により、精巣の温存の可否の判断基準の一つとなると期待されます。

5 協力をお願いする内容

患者さんには特に負担となる検査ではなく、今まで精索捻転症で行っていたエコー検査に追加で行います。検査時間は 2, 3 分程度で、精巣の硬さを測定し、数値化します。採取されたデータは匿名化して使用します。また、精索捻転症以外の精巣疾患の方のデータもその比較として使用します。

6 本研究の実施期間

西暦 2021 年 1 月 1 日～ 2023 年 12 月 31 日 (予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院

実務責任者 泌尿器科 松崎 和炯 内線:38106 mail:tamatsuzaki_kch@hp.pref.hyogo.jp

(対応時間帯 : 平日 9 : 00 ~ 17 : 00)

以上